

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 災害見舞金
-------------------	--------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	4	自立した暮らしへの支援
小分類	1	自立した暮らしへの支援
主要な施策	1	生活安定対策の推進
事務事業番号	002	事務事業コード 13411002 事業開始年度 昭和 4 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	災害見舞金
------	------	------------	-------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 市民が火災や自然災害により被害を受けたとき、被害状況に応じて災害見舞金を支給する。 ・住居の被害 全壊、流失、埋没、半壊、半流失、半埋没 火災による全焼、半焼 ・人身の被害 死亡、負傷
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 災害で被害を受けた市民の早期復旧等を支援し、福祉の増進を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市災害見舞金支給条例 登別市災害見舞金支給条例施行規則

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	住居被害による見舞金額(年度ベース)	千円	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	10				
	人身被害による見舞金額(年度ベース)	千円	目標値	240	240	240	240	240
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	10	510	510	510	510	1,530
合 計				10	510	510	510	510	1,530
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	211	221			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		211	221			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
市条例に基づく。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっ ていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがっ ている理由、あ がらない理由は なんですか？
火災や自然災害を受けた世帯の早期復旧を図 ることができる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上さ せることはでき ますか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることは できない	→ どのように 向上させます か？ 向上させるこ とができない理 由は何ですか？
火災や自然災害を受けた世帯に対する援護であ る。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさ ずにコスト（予 算や人工、所要 時間）を削減す ることはでき ますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方 法でコストを削 減しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
被害を受けた方への見舞金であり削減はできな い。			

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	災害で被害を受けた市民の早期復旧を支援し、福祉増進を図るため必要である。
-----------	----------------------------------	--------------------------------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）